様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	高崎経済大学
設置者名	公立大学法人高崎経済大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経済学部	経済学科			74	0	74	13	
	経営学科				0	74	13	
	国際学科				0	74	13	
地域政策学部	地域政策学科			102	0	102	13	
	地域づくり学科				0	102	13	
	観光政策学科				0	102	13	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

・経済学部
https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-90-2-1.pdf
・地域政策学部
https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-103-2.pdf

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	高崎経済大学
設置者名	公立大学法人高崎経済大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.tcue.ac.jp/leafpage/yakuin.html

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社役員	2025.4.1～2027.3.31	会社経営者としての知見や経験に基づく提言や助言
非常勤	作家	2025.4.1～2027.3.31	文学等に関する専門的知見や経験に基づく提言や助言
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高崎経済大学
設置者名	公立大学法人高崎経済大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 基本情報（科目名、担当教員、配当年次、開講時期、授業実施方法、単位数、担当教員との連絡方法)、目的、達成目標、教科書・参考文献、授業外での学習、評価方法・評価基準、履修上の注意、ディプロマ・ポリシーとの関連、授業計画詳細、以上の項目を共通のフォーマットで示している。 シラバスの作成については、本学で定めたシラバス作成ガイドラインに基づき、前年度後期から授業担当教員が案を作成し、自己点検・評価委員会が定めたシラバスチェックに係る申合せに基づき、学部長の指示により、チェック担当者がチェックを行う。その結果を自己点検・評価委員会が確認したうえで、最終的に学部長が確認を行って完成させる。新年度当初（４月上旬）にガイダンスを実施する際に、事前に学内のポータルサイト及びホームページで公開し、履修支援を行っている。	
授業計画書の公表方法	・経済学部シラバス https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_syllabus.html ・地域政策学部シラバス https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_2019syllabus_a213.html
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 学修成果の厳格かつ適正な評価に関しては、リアクションペーパーやコメントペーパー、小テストを複数回実施することや授業がある程度進んだ段階で中間テストを行うことなどにより、授業の理解度および学修意欲の把握に努めている。 同時に、期末試験または期末レポートを課すことで、「授業計画書（シラバス)」に記載した授業の達成目標をクリアしているかどうかを把握している。 他方、単位については、期末試験または期末レポートに、上述したリアクションペーパーや中間テスト、受講態度など、他の要素を加味しつつ、「授業計画書（シラバス)」に記載した評価基準に基づき、複数の総合的な視点から評価したうえで、厳格かつ適正に付与している。 毎学期の成績は、学業成績通知で伝えるが、その際に、学業成績通知に記載している成績に疑義がある場合には、学生は定められた申請期間に成績問合せの申請を行うことができる。なお、成績問合せの申請があった場合には、学部長を通じて科目担当者が書面で回答することとしている。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

評価方法は、定期試験、筆記試験、レポート、口頭試問などを総合して行う。個々の科目の評価方法はシラバスに明示している。成績評価基準は、Ｓ（90 点以上）、Ａ（80 点以上）、Ｂ（70 点以上）、Ｃ（60 点以上）、Ｄ（59 点以下、不合格）、Ｅ（未受験）の６段階で、100 点満点中の 60 点以上を合格（単位修得）としている。履修登録した科目の単位を修得するためには、授業回数の３分の２以上出席し、試験に合格することが求められる。成績評価を行う試験は、筆記（レポートを含む）と口頭によるものがあり、平常試験、定期試験（期末試験）、追試験を実施する。

単位認定科目（他大学単位互換科目、入学前既修得単位等）、卒業要件の対象とならない科目（教職科目の一部）はＧＰＡの算出対象から外している。ＧＰはＳが４、Ａは３、Ｂは２、Ｃは１、Ｄ・Ｅは０である。

【ＧＰＡの計算方法】

$$\frac{\text{履修登録した各科目の（単位数×ＧＰ）の合計}}{\text{履修登録した科目の総単位数}}$$

※ＧＰＡの算出は、小数点第三位を四捨五入し、小数点第二位まで求める。
※不合格となった科目を再度履修した場合、直近の成績評価のみをＧＰＡの算出の対象とする。
※単位認定科目（他大学単位互換科目、入学前既修得単位等）、卒業要件の対象とならない科目（教職課程の一部科目）については、ＧＰを付与せず、ＧＰＡの算出対象としない。
※学業成績通知上では、セメスターごとのＧＰＡのほか、通算でのＧＰＡを表示するが、成績単位修得証明書には、通算ＧＰＡのみ表示される。

客観的な指標の算出方法の公表方法	・経済学部 https://www.tcue.ac.jp/leafpage/727.html ・地域政策学部 https://www.tcue.ac.jp/leafpage/730.html

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

<table>
<tr><td colspan="2">（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
卒業の認定方針については、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）として、経済学部では「一般教養科目、言語系科目および数理系科目、経済、経営および国際の３学科に設置された専門科目、演習の修得を通じて知識・理解、態度・志向および汎用的技能を身につけると同時に、所定の単位数を修得した学生に学位を授与する。」ことを掲げている。地域政策学部では「基礎教育科目を通じて学問の方法論、論理的思考法、幅広い教養と実践的語学力など基礎力を修得し、専門教育科目を通じて所属する学科で指定した能力を身に付けた者で、定められた年限在学し、所定の単位数を修得した者に学位『学士（地域政策学）』を授与する。」ことを掲げている。
卒業判定は、教授会において卒業判定対象者の成績資料を配布し、厳正な手続きを踏み、学長に意見を述べ、学長が決定している。
本方針は、高崎経済大学『目的・学生育成目標等＆３つの方針／各種基本方針』として、ホームページで公開しているほか、入学時に配布する『履修要綱』の冒頭に掲げ、学生への周知徹底を図っている。</td></tr>
<tr><td>卒業の認定に関する
方針の公表方法</td><td>・高崎経済大学学位規程
https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-507-1.pdf
・高崎経済大学経済学部規程
https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-507-2-1-seq1.pdf
・経済学部　卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_diploma_p.html
・経済学部卒業要件
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_yoken117.html
・高崎経済大学地域政策学部規程
https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-507-3-1-seq1.pdf
・地域政策学部　卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_diploma.html
・地域政策学部卒業要件
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_yoken218.html</td></tr>
</table>

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	高崎経済大学
設置者名	公立大学法人高崎経済大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネット https://www.tcue.ac.jp/leafpage/zaimu.html
収支計算書又は損益計算書	インターネット https://www.tcue.ac.jp/leafpage/zaimu.html
財産目録	公立大学法人のため不要
事業報告書	インターネット https://www.tcue.ac.jp/leafpage/zaimu.html
監事による監査報告（書）	インターネット https://www.tcue.ac.jp/leafpage/zaimu.html

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：令和７年度公立大学法人高崎経済大学年度計画 対象年度：令和７年度）
公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/1858.html
中長期計画（名称：公立大学法人高崎経済大学 第３期中期計画 対象年度：令和５年度～令和１０年度）
公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/1858.html

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/hokoku.html

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/uaa.html

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　経済学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_porpose.html）
（概要） 経済学部は、商都高崎の伝統を踏まえて、実学の精神で学生を教育する。広い教養と基礎的学力を養い、教員の高水準の研究成果を適切に伝えることにより、経済学・経営学全般に通じ、国際・国内・地域の諸分野で自力を持って活動しうる人材を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_diploma_p.html）
（概要） 経済学部は一般教養科目、言語系科目および数理系科目、経済、経営および国際の３学科に設置された専門科目、演習の修得を通じて以下に掲げる知識・理解、態度・志向および汎用的技能を身につけると同時に、所定の単位数を修得した学生に学位を授与する。 Ⅰ　知識・理解 ○一般教養および隣接分野 １　人文学、社会科学、数理系科学など幅広い学問領域の知識を身につけることで、経済、経営および国際の各学科の専門科目をより深く理解している。 ２　人文学、社会科学、数理系科学に関わる特定の学問領域を深く学び、より高度な知識を身につけることで、社会とそれを構成する制度や人の営みをより深く理解している。 ○経済学科 １　経済の制度・歴史・政策などについて基本的な知識を有し、考察対象となる経済社会の背景などを理解できる。 ２　経済学の理論・分析手法などについて体系的に理解し、経済社会の諸問題に対して応用できる。 ○経営学科 １　経営学の基礎的な知識を学んだうえで、戦略・マーケティング、組織・マネジメント、会計・財務、法律など幅広い学問領域の専門知識を身につけることで、企業をはじめ組織の活動を多面的に理解できる。 ２　経営学における特定の学問領域を深く学び、より高度な知識を身につけることで、組織の活動に関わる諸問題に対して応用できる。 ○国際学科 １　経済学、経営学の基礎的な知識および専門的な知識を身につけることで、国際的な視点から経済あるいは経営に関わる実態を理解できる。 ２　高度な語学力を身につけるとともに、社会、政治、法律および歴史などに関する幅広い知識を理解し、国際社会の諸問題に対して応用できる。 Ⅱ　態度・志向 １　さまざまな知識・技術に興味・関心をもち、能動的かつ継続的に学修する。 ２　積極的なコミュニケーションを通じて、他者と協調する。 ３　倫理観をもって行動し、社会や組織に対し主体的に関与する。 Ⅲ　汎用的技能 １　課題を設定し、それに対する調査、分析、評価をすることで解決策を提案できる。 ２　論理的かつ批判的な思考ができる。

３　数理的手法と情報通信技術を活用できる。
４　多様な言語を他者とのコミュニケーションに活用できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_curriculum_p.html）

（概要）
経済学部では、学生に「卒業認定・学位授与の方針」で掲げる知識・理解、態度・志向および汎用的技能を修得し、さまざまな組織で自律的に課題を発見し、解決策を提案できる人材を育成するため、以下の方針にしたがって教育課程を編成する。
１　経済あるいは経営に関する専門知識を有し、それを基盤に経済社会や国際社会で能動的・主体的に活動できる人材を育成するため、経済学、経営学および国際関係に関連する領域の科目を幅広く配置する。
２　他者との円滑なコミュニケーションに必要な思考力や表現力を高めるため、少人数のクラス編成により、グループワークや双方向の対話を重視した科目を配置する。
３　英語を用いたコミュニケーションに必要な思考力や表現力を高めるため、習熟度に応じた少人数のクラス編成により、グループワークや双方向の対話を重視した英語科目を配置する。
４　英語をはじめ諸言語を使用するひととのコミュニケーションに必要な語学力を高めるため、習熟度に応じて学生が選択できる複数の外国語科目を配置する。
５　数理的手法と情報通信技術の活用に必要な知識および技能を身につけるため、習熟度に応じて学生が選択できる科目を配置する。
６　さまざまな学問領域の知識に触れることを通じて、自己および自分とは異なる社会や文化などを理解するとともに、能動的かつ継続的な学修を促すため、教養を涵養する科目を配置する。
７　経済学、経営学および国際関係を中心に特定の学問領域の知識を深く理解するとともに、論理的かつ批判的な思考に基づいた課題を設定したうえで解決策の提案を行い、積極的なコミュニケーションを通じて他者と協調する方法を見出すため、グループワークや双方向の対話を重視した少人数編成の専門科目を設置する。
８　学修成果の評価に関しては、学部における成績評価の基準を定めたうえで、各科目の達成目標に基づいて評価する。

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_admission_p.html）

（概要）
経済学部では、「教育課程編成・実施の方針」にもとづく教育を施すことを通じて、「卒業認定・学位授与の方針」に掲げた人材を育成するため、以下のような資質を備えたひとを積極的に受け入れる。

１　高等学校までの以下の学習の内容をきちんと身につけているひと
（１）日本語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
（２）英語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
（３）数理的手法を身につけるために必要な数学の知識・技能
（４）人文社会科学を学習する前提となる幅広い知識
２　１に掲げる知識・技能をもとに、論理的に思考し、自身の考えをまとめて他者に伝えることができるひと
３　経済、経営及び国際関係に強い興味・関心があり、主体的な態度で学習に取り組むことができるひと
４　多様な価値及び意見を尊重し、他者と協力しながら学習や課外活動に取り組むことができるひと

また、上記のような資質を備えているかを判断するため、以下の基本方針のもと入学者選抜を行い、多様な人材の確保に努める。

○一般選抜
　一般選抜では、前期日程、公立大学中期日程とも、大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストを行い、上記１及び２の知識・技能及び能力を修得しているかを評価するとともに、調査書により、上記３、４の態度・能力を確認し、総合的に判断する。

○学校推薦型選抜
　学校推薦型選抜では、英語と小論文試験で、上記１の（１）、（２）及び２の知識・技能及び能力を有しているかを評価するとともに、面接試験、調査書・推薦書等の提出書類により、上記２、３、４の態度・能力を総合的に判断する。さらに、１、３の知識・技能・態度に関しては、英語や簿記などの資格・検定試験の結果も適宜評価する。

○編入・転入学選抜
　編入・転入学選抜では、英語及び経済学・経営学の基礎的な問題により、上記１の（２）、（３）及び３の知識・技能・態度を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記２、３、４の態度・能力を総合的に判断する。

○私費外国人留学生選抜
　私費外国人留学生選抜では、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績により、上記１の知識・技能を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記２、３、４の態度・能力を総合的に判断する。

○社会人選抜
　社会人選抜では、英語と小論文試験により、上記１の（１）、（２）及び２の知識・技能及び能力を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記２、３、４の態度・能力を総合的に判断する。

○帰国生徒選抜
　帰国生徒選抜では、小論文試験及び面接試験により、上記２、３、４の態度・能力を総合的に判断する。

学部等名　地域政策学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_porpose.html）
（概要） 　地域政策学部は、その研究・教育・地域貢献を通じて、多面的に地域を考え、かつ、内発的な地域づくりに参画し、地方分権時代を担う官民諸分野の人材を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_diploma.html）
（概要） 　地域政策学部では、基礎教育科目を通じて学問の方法論、論理的思考法、幅広い教養と実践的語学力など基礎力を修得し、専門教育科目を通じて所属する学科で指定した能力を身に付けた者で、定められた年限在学し、所定の単位数を修得した者に学位「学士（地域政策学）」を授与する。 ○地域政策学科 【知識・理解】 １　地域の諸問題を発見し、その背景にある要因を考察することができる。 ２　地域政策に関する知識を修得し、使いこなすことができる。 ３　必要な専門知識を身に付け、地域が抱える諸問題を解決することができる。

【態度・志向性】
1　地域社会に関心を持ち、地域振興に寄与することができる。
2　問題解決に関心を持ち、政策立案を通じて地域社会の中核となることができる。
【汎用的技能】
1　他者との協働が不可欠である政策立案に必要なコミュニケーションをとることができる。
2　コンピュータに関する技能を身に付け、情報社会に対応することができる。
3　外国語を用いて、社会生活に必要なコミュニケーションをとることができる。
4　社会的問題を分析し、対外的に発信することができる。
○地域づくり学科
【知識・理解】
1　地域の諸問題を発見し、その背景にある要因を考察することができる。
2　地域づくりに関する知識を修得し、使いこなすことができる。
3　必要な専門知識を身に付け、地域が抱える諸問題を解決することができる。
【態度・志向性】
1　地域社会の課題を明らかにし、地域活性化について考えることができる。
2　地域の諸資源を活用して、地域住民と協働して地域づくりを担うことができる。
3　地域の問題の発生から社会への影響の過程を理解し、解決に寄与することができる。
【汎用的技能】
1　他者との協働が不可欠である政策立案に必要なコミュニケーションをとることができる。
2　コンピュータに関する技能を身に付け、情報社会に対応することができる。
3　外国語を用いて、社会生活に必要なコミュニケーションをとることができる。
4　社会的問題を分析し、対外的に発信することができる。
○観光政策学科
【知識・理解】
1　地域の諸問題を発見し、その背景にある要因を考察することができる。
2　観光政策に関する知識を修得し、使いこなすことができる。
3　必要な専門知識を身に付け、地域が抱える諸問題を解決することができる。
【態度・志向性】
1　地域社会を分析し、地域活性化のための観光政策について考えることができる。
2　観光の手法を取り入れて地域振興のための政策や企画について考えることができる。
3　世界各地の文化と生活を理解し、国際的な視点から観光交流を推進することができる。
【汎用的技能】
1　他者との協働が不可欠である政策立案に必要なコミュニケーションをとることができる。
2　コンピュータに関する技能を身に付け、情報社会に対応することができる。
3　外国語を用いて、社会生活に必要なコミュニケーションをとることができる。
4　社会的問題を分析し、対外的に発信することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_curriculum.html）

（概要）
地域政策学部では、「卒業認定・学位授与の方針」に掲げる知識・技能を修得させるために、以下の方針にしたがって教育課程を編成する。
1 「地域リーダーとしての問題解決能力」を構成する、問題発見力、調査分析力、政策立案力、コミュニケーション力、組織的行動力、社会的責任力の諸能力が修得できるよう教育の充実をはかる。
2 地域政策学を構成する諸分野の基礎である人文科学・社会科学・自然科学等を幅広く学ばせ、国際化社会に対応できる実践的な外国語能力を修得させるために基礎教育科目を配置する。専門教育を理解するうえで必要となる方法論を学ばせるために、基礎教育科目の中に基幹教養科目を配置する。

３ 地域政策学の基礎となる考え方や地域問題の捉え方を修得させ、さらに大学生活の基礎となる学びの方法論を修得させるために専門導入科目を配置する。
４ 地域が直面する多様な課題を理解させ、地域問題解決に結び付く幅広い理論と深い専門的知識を修得させるために、３学科に専門基礎科目及び専門発展科目を配置する。
５ 専門分野における地域政策学の理論の深化と、実践的・実証的調査研究により、地域問題解決の高い能力を修得させるために必修科目として基礎演習、演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文を配置する。
６ 広い視野と深い問題意識の修得をはかるため、現場の地域リーダーを招聘する実践的・実証的な講義を配置する。

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_admission.html）

（概要）
地域政策学部では、「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」に定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求める。

１　大学で学ぶための基礎的な学力として、高等学校までの以下の学習の内容を身に付けている人
（１）日本語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
（２）英語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
（３）データや資料を適切に分析・処理するのに必要な知識・技能
（４）人文社会科学を学習する前提となる幅広い知識
２　１に掲げる知識・技能をもとに、論理的に思考し、自身の考えをまとめて他者に伝えることができる、聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身に付けている人
３　地域社会に関する幅広い問題意識を持っている人
４　地域社会が直面する諸課題の解決に積極的に取り組む意欲を持っている人
５　大学内外の人たちと協力して学修・研究に取り組むことができる人

また、上記のような資質を備えているかを判断するため、以下の基本方針のもと入学者選抜を行い、多様な人材の確保に努める。

○一般選抜
一般選抜では、前期日程、後期日程とも、大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストを行い、上記１の知識・技能を修得しているかを評価する。教科・科目に係る個別テストでは小論文の受験を必須とし、上記３及び４の問題意識や関心を有しているかを評価するとともに、論理的な文章を作成する能力をはかる。あわせて、調査書により、上記３、４、５の態度・能力を確認し、総合的に判断する。

○学校推薦型選抜
学校推薦型選抜では、小論文試験（英語を含む）により、上記１の（１）、（２）及び２の知識・技能・能力を有しているかを評価するとともに、面接試験、活動実績報告書及び調査書等により、上記２、３、４、５の態度・能力を総合的に判断する。

○編入・転入学選抜
編入・転入学選抜では、小論文試験により、上記１の（３）、（４）、３及び４の知識・関心を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記２、３、４、５の態度・能力について総合的に判断する。

○私費外国人留学生選抜
私費外国人留学生選抜では、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の

成績により、上記１の知識・技能を有しているかを評価するとともに、小論文試験及び面接試験により、上記２、３、４、５の態度・能力を総合的に判断する。

〇社会人選抜
　社会人選抜では、小論文試験により、上記１の（１）及び２の知識・技能・能力を有しているかを評価するとともに、面接試験及び志望論文により、上記３、４、５の態度・能力を総合的に判断する。

〇帰国生徒選抜
　帰国生徒選抜では、小論文試験及び面接試験により、上記２、３、４、５の態度・能力を総合的に判断する。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/soshiki.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	3 人	－					3 人
経済学部	－	28 人	22 人	4 人	0 人	0 人	54 人
地域政策学部	－	30 人	19 人	0 人	0 人	0 人	49 人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	220 人	220 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法： ・経済学部 （https://www.tcue.ac.jp/list/ec_teachers.html） ・地域政策学部 （https://www.tcue.ac.jp/list/rp_teachers.html）

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

授業に関する学生アンケート、ピアレビュー及び在学生、卒業生に対する調査の継続など、多面的な評価を実施し、その結果を基にＦＤを実施している。そのほか、「高経大生のこころとからだの健康について」 「大学の研究教育において生成ＡＩとどう向き合うか」をテーマとしたＦＤを実施した。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
経済学部	480 人	538 人	112.1%	1920 人	2223 人	115.8%	0 人	1 人
地域政策学部	420 人	457 人	108.8%	1760 人	1946 人	110.6%	30 人	29 人
合計	900 人	995 人	110.6%	3680 人	4169 人	113.3%	30 人	30 人

（備考）

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
経済学部	489 人（100%）	7 人（1.4%）	427 人（87.4%）	55 人（11.2%）
地域政策学部	447 人（100%）	5 人（1.1%）	367 人（82.1%）	75 人（16.8%）
合計	936 人（100%）	12 人（1.3%）	794 人（84.8%）	130 人（13.9%）

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

就職者数に占める割合が 10%以上の業種：情報通信（18.4%）、公務（17.8%）
金融・保険（16.9%）

（備考）

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
経済学部	538 人 (100%)	441 人 (82.0%)	69 人 (12.8%)	25 人 (4.6%)	3 人 (0.6%)
地域政策学部	476 人 (100%)	421 人 (88.4%)	39 人 (8.2%)	15 人 (3.2%)	1 人 (0.2%)
合計	1014 人 (100%)	862 人 (85.0%)	108 人 (10.7%)	40 人 (3.9%)	4 人 (0.4%)

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
・経済学部シラバス
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_syllabus.html
・地域政策学部シラバス
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_2019syllabus_a213.html

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
・ＧＰＡの客観的な算出方法について（経済学部）
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/727.html
・高崎経済大学経済学部規程
https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-507-2-1-seq1.pdf
・経済学部　卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_diploma_p.html
・経済学部卒業要件
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_yoken117.html
・ＧＰＡの客観的な算出方法について（地域政策学部）
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/730.html
・高崎経済大学地域政策学部規程
https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-507-3-1-seq1.pdf
・地域政策学部　卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_diploma.html
・地域政策学部卒業要件
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_yoken218.html
・高崎経済大学学位規程
https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-507-1.pdf

<table>
<tr><th>学部名</th><th>学科名</th><th>卒業又は修了に必要となる単位数</th><th>ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）</th><th>履修単位の登録上限（任意記載事項）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">経済学部</td><td>経済学科</td><td rowspan="6">136 単位</td><td rowspan="6">有</td><td rowspan="3">半期 28 単位
年間 48 単位</td></tr>
<tr><td>経営学科</td></tr>
<tr><td>国際学科</td></tr>
<tr><td rowspan="3">地域政策学部</td><td>地域政策学科</td><td rowspan="3">（1・2 年次）
半期 26 単位
年間 48 単位
（3・4 年次）
半期 24 単位
年間 44 単位</td></tr>
<tr><td>地域づくり学科</td></tr>
<tr><td>観光政策学科</td></tr>
<tr><td colspan="2">ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）</td><td colspan="3">公表方法：学業成績通知に、通算 GPA 及び学期ごとの GPA を記載しており、保証人も確認できるようにしている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）</td><td colspan="3">公表方法：
・高経 TOEIC 成績優秀者表彰
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/toeic_hyoushou.html
・高経外国語検定試験成績優秀者表彰
https://www.tcue.ac.jp/leafpage/gaikokugo_kentei.html</td></tr>
</table>

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.tcue.ac.jp/list/institution.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
経済学部	経済学科	520,800 円	282,000 円 ※141,000 円 （高崎市民）	円	
	経営学科				
	国際学科				
地域政策学部	地域政策学科				
	地域づくり学科				
	観光政策学科				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 毎年３～４月に学年別のガイダンスを実施し、各学年に必要な情報を提供している。新入生向けのガイダンスでは、大学の施設や利用方法、履修登録等についての説明を行っている。地域政策学部ではオフィスアワーを設定しており、全専任教員が学生からの様々な質問や相談に応じている。また、全学部生を対象とした「アクティブ・ラボ」では、教員がレポートや論文の書き方、パソコンの操作方法など、学修に関する様々な支援を行っている。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 学生が４年間を通じて体系的にキャリア形成できるよう「キャリア支援指針（キャリア形成年次ピラミッド）」を策定し、これに基づいた事業展開をするとともに、各学年で参加すべきセミナーを明示している。同窓会と連携し、全国各地で活躍する卒業生の支援を受け、学内外で就職相談会等を実施している。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 定期健康診断では、受診した全学生に対して保健指導を実施し、心身の健康管理を行ううえで継続的な支援が必要な学生へは積極的な声掛けを続けることで、支援が途切れないように対応している。「学生サポートルーム」では、公認心理師や保健師、養護教諭等が学生生活の様々な悩み事の相談に応じており、対面による相談だけでなく、電話相談やZoomによるオンライン相談も取り入れ、学生の精神面の支援を行っている。障害等を有する学生に対しては、修学上の支援を行い、社会的障壁の軽減を図っている。また、ハラスメント防止等のため、新入生向けのガイダンス等で相談窓口を周知し、早期対応に努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.tcue.ac.jp/leafpage/johokohyo.html

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。